

平成30年度事業報告

平成30年度は、数多くの自然災害が日本列島を襲い、当センターも台風21・24号により大阪・川崎の施設が被害を受けました。9月以降、復旧工事等を行ってきましたが、一部の工事は翌年度に持ち越しとなりました。

一方、和牛の価格の高止まり状況が継続している中で、和牛の格付割合は、規格「3」が減少し、規格「4」及び規格「5」が増加してきました。

また、厚生労働省は、食品衛生法を改正し、食肉販売業及び食肉処理業を含む業界に対し、HACCPの考えを取り入れた衛生管理の導入を義務付け、遅くとも2020年6月までに施行することになりました。

1 平成30年度事業

(1) 部分肉価格公表関連

ア 平成30年度公表状況（参考1参照）

全国の主要食肉卸売企業から収集した部分肉情報を、公表地域（首都圏、近畿圏、中京圏、九州地域）ごとに畜種・品種・部位別に集計・分析の上、ホームページ、新聞、食肉業界紙等を通じて公表しました。

4地域における牛部分肉（和牛、乳牛、交雑牛、輸入牛）、豚部分肉（国産豚、輸入豚）の公表回数は、延べ1,392回／年でした。

イ 月報・年報の作成

公表地域別に、平成30年分等の部分肉価格情報を月報及び年報として取りまとめ、ホームページ上で公表しました。

ウ 公表システムの整備

これまで週報として公表してきました和牛規格「3」に替え、翌年度に実施予定の和牛規格「4」の週報としての公表や翌年度の消費税率の変更等に

備え、第2期システム整備基金を活用してシステムの整備を行いました。

また、第2期システム整備方針に基づき、システム整備基金（特定費用準備資金）の造成を行いました。

（2）部分肉流通施設の貸付け、整備等

ア 台風被害の復旧工事（参考2参照）

大阪センターでは、台風21号による南館屋上の防水シートの剥離、南館付属棟及び管理棟屋根の一部破損等により、冷蔵室内への雨水漏水等の被害が発生し、一時荷物の入出庫が不可能となるなどしたため、南館屋上防水工事、南館4階冷蔵庫内の一部天井の張替及び補強工事並びに南館付属棟・管理棟屋根等の復旧工事に加え賃料・稼働費の減額で対応し、大部分の復旧工事が年度末までに完工しましたが、北館の屋上防水工事等については翌年度完工予定です。

また、川崎センターにおいても、台風24号によるE棟屋上の防水シートが剥がれ、飛散した防水シートが高圧ケーブルを切断し、A棟からF棟まで停電する等の被害が発生し、荷物の入出庫作業が遅延するなどしたため、E棟屋上防水工事及び高圧ケーブルの復旧工事に対応し、1月中旬までに完工しました。

イ 新棟施設整備関連

前年度に実施した新棟意向調査結果を継続するとともに、外部の食肉卸業者を対象に含めた意向調査を実施し、これらの調査等をもとに新棟施設整備計画案を作成し、新棟施設検討委員会での了承を経て、11月29日の理事会で当該計画が承認されました。

新棟への入居の募集については、平成31年3月29日をもって終了しました。

また、新棟施設整備方針に基づき、新棟施設整備基金（資産取得資金）の造成を行いました。

ウ 部分肉流通施設の貸付け（参考3参照）

当センターにおける卸売取引施設等について、ホームページ上で募集案内を掲載するとともに、関係者からの情報収集、事業者への働きかけ等を行うことにより、川崎ではほぼ空小間がない状況を維持し、大阪センターでも空室を1小間減らすなど、入居促進を図りました。

エ 施設の整備（参考4参照）

① 通常修繕等

通常修繕等については、修繕計画に基づき、また、工事内容の緊急性、重要性等を勘案して計画的・経済的に、川崎センターではF棟2階加工室空調機更新工事等、大阪センターでは共用部分照明LED化工事等を行い、施設・設備の機能の維持向上に努めました。

また、出店者の入退去に伴う施設の原状回復工事、既存出店者の借増し・移転に伴う工事等についても随時対応しました。

② 大規模修繕等

大規模修繕等については、特定施設修繕基金（特定費用準備資金）を活用して、川崎センターではC・D棟の外壁塗装工事、C棟メイン給水管更新工事及びE棟・F棟屋上防水改修その他工事を実施しました。

また、大阪センターでは、北館外壁改修その他工事、北館屋上防水更新工事及び南館A・Bバース改修工事を実施しました。

オ 部分肉流通促進対策の実施等

川崎センターでは、部分肉流通促進対策の一環として、外部検査機関による衛生検査の結果を考慮して、共用トイレ扉のスイング化、共用トイレのウォシュレット化など、施設内の衛生水準の一層の向上を図りました。

また、部分肉の急速凍結等の対策も実施しました。

(3) 調査研究、知識の普及及び研修

ア 研修会の開催等

① 研修会の開催（参考5参照）

川崎センターでは、出店者、食肉関係者、一般消費者等を対象に、最近の食肉事情と今後の課題をテーマとした研修会を2回開催しました。

また、大阪センターでは、出店者、食肉関係者を対象とした、最近における食肉事業と今後の課題をテーマとした研修会を1回開催しました。

② 部分肉の流通・価格動向等に関する調査

首都圏・近畿圏の主要食肉卸売業者を対象に、需給変動時期（ゴールデンウィーク、年末年始）における部分肉の流通・価格動向等に関する調査を実施しました。

イ ちくさんフードフェアの開催

平成30年10月6日（土）・7日（日）に川崎センターにおいて、日本食肉流通センター卸売事業協同組合、日本食肉流通センター川崎冷蔵事業協同組合との共催で「ちくさんフードフェア2018」を開催しました。

食肉を利用した料理セミナーの開催、「一押し食肉」の試食及び部分肉の部位パズルの展示等により、消費者等への食肉の知識普及を図りました。

また、来場者数は、天候に恵まれたこともあって、過去最高の134千人（昨年度117千人）でした。

ウ 食肉流通標準化システム協議会の運営

食肉流通の合理化・効率化を促進するため、物流標準化関係機関等と連携しつつ、食肉流通標準化システム協議会の事務局として、食肉流通システムの標準化に向けた取組みを推進しました。

エ 施設見学者への対応

食品衛生管理者登録講習会に係る施設見学65名、独立行政法人農畜産振興機構2名及び豪州食肉家畜生産者事業団1名による、F棟枝肉保管庫、部分肉加工工場等の見学に対応しました。

2 理事会及び評議員会

(1) 第1回理事会（定例理事会）（平成30年6月1日）

開催場所 グランドプリンスホテル

決議事項 平成29年度事業報告及び決算、定時評議員会の招集

報告事項 理事の職務執行状況（平成29年度第1回）

出席等 決議に必要な出席理事の数 7名

出席10名、欠席 2名、監事出席2名

(2) 第1回評議員会（定時評議員会）（平成30年6月18日）

開催場所 糖業会館

報告事項 平成29年度事業報告及び決算、理事の職務執行状況

出席等 決議に必要な出席評議員の数 8名

出席12名、欠席 3名、監事出席2名

(3) 第2回理事会（臨時理事会）（平成30年11月29日）

開催場所 糖業会館

決議事項 新たな部分肉流通施設の整備に関する基本計画

報告事項 新棟施設整備委員会の委員の委嘱等及びその検討状況等、

平成30年度の台風被害

出席等 決議に必要な出席理事の数 6名

出席10名、欠席 1名、監事出席2名

(4) 第3回理事会（臨時理事会）（平成31年2月21日）

開催方法 当センター定款第45条の規定に基づく決議の省略

決議事項 平成30年度第2回評議員会の開催

出席等 平成31年2月6日理事長小林裕幸が理事の全員11名及び監事の全員2名に対して、理事会の決議の目的である事項について提案書を発し、当センター定款第45条に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされました。

(5) 第4回理事会（定例理事会）（平成31年3月15日）

開催場所 糖業会館

決議事項 平成31年度事業計画及び収支予算
平成31年度資金調達及び設備投資の見込み
一時借入金の限度額

報告事項 理事の職務執行状況（平成30年度第2回）
台風被害の復旧状況
新棟施設整備の現状

出席等 決議に必要な出席理事の数 6名
出席11名、欠席 0名、監事出席2名

(5) 第2回評議員会（平成31年3月15日）

開催場所 糖業会館

決議事項 評議員1名の選任

報告事項 理事会決議事項等の報告

出席等 決議に必要な出席評議員の数 8名

出席 11名、欠席 3名、監事出席 2名

3 役員（理事）の異動（辞任）

辞任理事数 1名

4 評議員の異動（辞任に伴う新任）

辞任評議員数 1名

新任評議員数 1名

5 会計監査人の異動（任期満了に伴う再任）

再任会計監査人数 2名

【参考 1】 部分肉価格情報の公表方法（公表機関、地域等）

公表機関		公表地域	公表日	公表品目	部位
日本食肉流通センター ホームページ		首都圏 近畿圏 中京圏 九州地域	毎日更新	豚カット肉「I」	7
			毎週火曜日(週間)	豚カット肉「I」	7
			毎週水曜日更新	乳牛チルド「2」	13
			毎週火曜日更新	和牛チルド「3」	15
			毎週水曜日更新	交雑牛チルド「3」	13
			毎月 3,18 日更新	輸入牛肉	20
			毎月 3,18 日更新 業務月報(毎月更新)	輸入豚肉 全品目	14 全部位
日本経済新聞（全国版）	首都圏	毎日(公表日翌日) 毎週木曜日 毎週水曜日	豚カット肉「I」 乳牛チルド「2」 和牛チルド「3」	7 12 12	
神奈川新聞	首都圏	毎日(公表日翌日) 毎週木曜日 毎週水曜日 毎週木曜日 翌日	豚カット肉「I」 乳牛チルド「2」 和牛チルド「3」 交雑牛チルド「3」 輸入牛肉	7 12 15 12 20	
日本農業新聞（全国版）	首都圏 近畿圏 中京圏 九州地域	毎日(公表日翌日) 毎週木曜日 毎週水曜日 毎週木曜日 翌日 翌日	豚カット肉「I」 乳牛チルド「2」 和牛チルド「3」 交雑牛チルド「3」 輸入牛肉 輸入豚肉	7 13 15 13 20 14	
日農 net アグリ市況 (https://www.agrishikyo.jp)					
食肉通信社	食肉速報（日報）	首都圏 近畿圏 中京圏 九州地域	毎日(公表日翌日) 前週分(週間) 毎週水曜日 毎週火曜日 毎週水曜日 翌日から10日後 翌日から10日後	豚カット肉「I」 豚カット肉「I」 乳牛チルド「2」 和牛チルド「3」 交雑牛チルド「3」 輸入牛肉 輸入豚肉（首都圏）	7 7 13 15 13 20 14
	食肉通信（週報）	首都圏 近畿圏 中京圏 九州地域	前日まで1週分 前週分 前週分 前週分	豚カット肉「I」 乳牛チルド「2」 和牛チルド「3」 交雑牛チルド「3」	7 13 15 13
食品産業新聞社（畜産日報）	首都圏 近畿圏 中京圏 九州地域	毎日(公表日翌日) 毎週木曜日 毎週木曜日 毎週木曜日 翌日 翌日	豚カット肉「I」 乳牛チルド「2」 和牛チルド「3」 交雑牛チルド「3」 輸入牛肉 輸入豚肉	7 13 15 13 20 14	
全国生鮮食料品流通情報センター	首都圏・近畿圏 中京圏・九州地域	毎月 3、18 日更新 依頼者へFAX	輸入牛肉	20	
肉牛新報社(肉牛ジャーナル)	首都圏 近畿圏	毎月第4週を最新号で	和牛チルド「3」 交雑牛チルド「3」	15 13	

(注) 1 公表地域とは、部分肉価格の取引データを収集し、公表の対象としている地域

2 センターの部位数は、最も多い地域の部位数を記載

【参考2】 台風被害による災害損失見込額等

大阪センター

(円)

項目	工事費	保険金見込額	実質災害損失見込額
◎南 館			
南館屋上防水及び4階冷蔵庫内復旧工事	200,329,200		
南館付属棟屋根その他改修工事	100,440,000		
南館4階冷蔵庫復旧作業等	41,388,575		
冷却設備被害復旧工事	16,276,005		
南館管理棟排煙窓補修工事	8,100,000		
南館1階冷蔵庫防水堤設置工事	3,078,000		
その他工事	30,260,914		
計	399,872,694	220,000,000	179,872,694
◎北 館			
北館屋上防水改修工事	78,300,000		
その他工事	6,781,320		
計	85,081,320	32,280,426	52,800,894
合計	484,954,014	252,280,426	232,673,588

川崎センター

項目	工事費	保険金の額	災害損失額
E棟復旧工事	12,012,840		
その他工事	746,280		
計	12,759,120	10,075,748	2,683,372

総合計	497,713,134	262,356,174	235,356,960
-----	-------------	-------------	-------------

大阪センター南館の「管理棟排煙補修工事」は、翌年度の契約となるため概算で積算しています。

また、「南館付属棟屋根その他改修工事」、「冷却設備被害復旧工事」及び「南館1階冷蔵庫防水堤設置工事」は次年度完成の予定です。

このほか、出店者に対する賃料40百万円、稼働費5百万円の減額を行っています。

【参考3】 センターの入退去状況

入退去者数 退去者 2者 (川崎 2者、大阪 0者)
 入居者 2者 (川崎 1者、大阪 1者)
 借増し 0者 (川崎 0者、大阪 0者)

入退去小間数

棟号	平成29年度末	平成30年度			備考
	空き	退去	入居・借増し	空き	
川崎A棟	0小間			0小間	
B棟	0小間	1小間		1小間	1退去
C棟	0小間			0小間	
D棟	1小間		1小間	0小間	1入居
E棟	0小間			0小間	
F棟	0小間	1小間		1小間	1退去
大阪北館	3小間			3小間	
南館	3小間		1小間	2小間	1入居
計	7小間	2小間	2小間	7小間	

注1：同一者がセンター内で移転した場合、入居、退去の双方にカウントしている。

注2：退去とは、出店者が施設を撤退した場合をいう。

注3：大阪の空き小間は事務室である。

【参考4】 特定施設の整備

特定施設修繕基金による整備

	事業費の予定額	整備計画年度
特定施設の整備	11.4億円	平成26年～35年度
基金の積立額 (平成26年度)		10.0億円 (既使用額6.8億円)
基金の現在額 (平成31年3月31日現在)	3.2億円	

【参考5】 研修会の開催

川崎センター

回数	研修名・講師名	開催日時・場所・参加人数
第1回	「HACCP義務化に向けた取り組みについて及び「食育」への新たな取り組み」について 全国食肉事業協同組合連合会 専務理事 木村 元治氏	平成30年7月20日（金） 14時00分から15時30分まで 管理棟2階大会議室 52人
第2回	「体験型手洗い衛生講習会」 株式会社 サンリツ 第一営業部 新保 昌康氏	平成30年11月22日（木） 14時00分から15時00分まで 管理棟2階大会議室 26人

大阪事業部

回数	研修名・講師名	開催日時・場所・参加人数
第1回	「最近における食肉事情と今後の課題」 (1) 食肉流通を取り巻く日本経済・社会の動向 大阪市立大学大学院経済学研究科 教授 滋野 由紀子氏 (2) 食肉流通の現状と今後の課題 公益財団法人関西消費者協会 理事長 惣宇利 紀男氏	平成30年5月18日（金） 14時00分から16時30分まで 大阪センター南館2階セミナー室 58人